



安全データシート(SDS)

作成日 2001年12月18日

改訂日 2018年11月27日

整理番号:A038-15

1. 化学物質及び会社情報

化学物質等の名称 : ポリテトラフルオロエチレン
製品名 : KTL-20N, KTL-10N, KTL-10S, KTL-9N, KTL-9S, KTL-9A, KTL-8N, KTL-8N(D), KTL-8HM, KTL-8F, KTL-8FH, KTL-4N, KTL-2N, KTL-2N(D), KTL-1N
会社名 : 株式会社 喜多村
住所 : 愛知県愛知郡東郷町大字春木字白土1-242
担当部門 : 営業部 営業一課
TEL : 052-803-5151
FAX : 052-803-5190

2. 危険有害性の分類

GHS分類 : 分類基準に該当しない。
危険性 : 無し。
有害性 : 無し。ただし、熱分解物は有害。融点以上に加熱したり、長時間260℃以上に加熱すると、ポリマーヒューム熱の原因となる粒子状物質を発生する。約400℃で微量のフッ化水素及びフッ化カルボニルを発生し、更に高温では大量に発生する。
環境影響 : 無し。

3. 組成、成分情報

単一の製品・混合物の区別 : 単一製品
化学名 : ポリテトラフルオロエチレン
含有量 : 100%
化学式又は構造式 : $-(CF_2 - CF_2)_n-$
化審法官報公示整理番号 : 6-939
CAS. No. : 9002-84-0
国連分類及び国連番号 : 該当せず
EINECS : モノマー登録あり
TSCA : 登録あり
(EC)No.1907/2006 (REACH) : 登録済み

4. 応急処置

眼に入った場合 : 直ちに多量の水で洗う。もし充血やかゆみなどの症状が生じた場合は、医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合 : 石鹼で洗い、多量の水で洗い落とす。
吸入した場合 : 粉末を吸入した場合は十分にうがいを行う。
飲み込んだ場合 : 飲み込んででも害は無い。異常があれば医師の手当を受ける。

5. 火災時の措置

- 消防方法 : 自己消化性で燃えにくい物質であるが、周辺で火災が生じた場合は火元の燃焼源を断ち、消化剤を使用して消化する。
- 消化剤 : 消化剤(水、泡、粉末、炭酸ガス消化剤、乾燥砂)に制限は無い。
- 火災時の保護具 : 火災中にポリテトラフルオロエチレンが存在する時は、全面マスク空気呼吸器及び防災衣を着用する。
- 火災時の危険性 : ポリテトラフルオロエチレンは高温において、有害な微粒子、ヒューム、ガスを発生する。
-

6. 漏出時の処置 : 空容器にできるだけ回収し、その後を大量の水で洗い流す。
-

7. 取り扱い及び保管上の注意 : 保管場所では禁煙とする。製品が付着した煙草の喫煙により分解ガスを吸入する恐れがあるので、作業場を禁煙とし、取り扱い後は顔と手をよく洗い、製品が煙草に付着しないよう注意すること。使用後は容器の蓋を閉める。
-

8. 暴露防止措置

- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度 : ポリテトラフルオロエチレンとしての許容濃度はない。
一般粉塵として
日本産業衛生協会(TWA) 総粉塵 : 8mg/m³
吸入性粉塵 : 2mg/m³ (2012年度版)
ACGIH(TLV-TWA) 総粉塵 : 10mg/m³ (2012年度版)
OSHA(TLV-PEL) 総粉塵 : 15mg/m³
- 設備対策 : 適切な局所排気装置を使用する。
- 保護具 : 粉塵用マスクを着用する。熱分解が起こる可能性のある場合は、安全衛生法規定によるエアラインマスクを使用する。
製造工程時に発生したフッ化水素が、粉体容器内の空間に極微量残存している可能性があるため、開封時にその空気を吸い込まないように注意する。
- 保護眼鏡 : サイドシール付きの保護眼鏡を使用する。
- 保護手袋 : 適切な保護手袋を着用する。
-

9. 物理・化学的性質

- 外観等 : 白色粉末
- 臭い : 無臭もしくは弱酸臭
- 比重 : 2.10~2.20
- 融点 : 310°C以上
- 沸点 : 無し
- 蒸気圧 : 無し
- 揮発性 : 無し
- 溶解度 : 水に不溶
-

10. 危険性情報(安定性・反応性)

- 引火性 : 無し
- 発火点 : 無し
- 爆発限界 : 上限 無し
下限 無し
- 可燃性 : 無し
- 発火性 : 無し (自然発火、水との反応)
- 酸化性 : 製品中にごく微量の分解ガスが残存するため、密閉された状態で長期に金属に接触すると、錆を発生させる可能性が有る。
- 自己反応性・爆発性 : 無し
- 安定性・反応性 : 通常の状態では安定

11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

皮膚腐食性	: 無し
刺激性	: 無し
感作性	: データ無し
急性毒性(経口)	: LD50 マウス 1,250mg/kg ラット 12,500mg/kg
亜急性毒性	: データ無し
慢性毒性	: データ無し
発がん性	: 日本産業衛生学会(2012)、OSHA(米国労働安全衛生法)、NTP(米国国家毒性計画)のいずれも記載なし。IARC(国際がん研究機関)分類ではグループ3(発がん性の分類できず)に該当。
変異原性 (微生物・染色体異常)	: データ無し
生殖毒性	: データ無し
催奇形性	: データ無し

12. 環境影響情報

分解性	: データ無し
蓄積性	: データ無し
魚毒性	: データ無し

13. 廃棄場の注意

- : 外部業者に処理を委託する場合は、都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。
- : 可燃物と混合して、有害性廃棄物用焼却炉で焼却する。
燃焼生成物にフッ化水素を含む。

14. 輸送上の注意

- : 取り扱い及び保管上の注意の項による一般的な注意による。

15. 適用法令

労働安全衛生法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
PRTR法	: 非該当
外国為替及び外国貿易法	: 輸出貿易管理令、別表第1の16項に挙げる貨物に該当

ここに記載された情報は現時点では正確なものと考えられますが、危険・有害性の評価は必ずしも完全なものではなく、新知見によって変わることがあります。

また需要家の皆様の使用条件は弊社の管理外の事項となりますので、その取り扱いには十分注意して下さい。

株式会社喜多村 SDS <http://www.kitamura ltd.jp/>